

最近大阪市の幼稚園の状勢と其の保育について

大阪市教務課 岡 篤 郎

(一)

大正十五年に幼稚園令が設定せられて以來、全國保育關係者の自覺は斷然百歩を進めた。又一般教育界に於ても保育に關する問題は、漸次其の認識を高めたかの感があることは誠に喜ばしいことである。

しかし眼を轉じて全國の保育界の形勢を卓觀するに、幼稚園の多くは都市にのみ設けられて居るかの觀がある。殊に最近は農村にも見られるやうに、都市に於ても托兒所、保育所等が幼稚園令によらず、一種の社會施設として全国各地に普及してゐる。現に大阪市に於ても幼稚園令による幼稚園の外に、保育所、托兒所の名稱によつて幼児の教養が行はれてゐる。そしてこの社會施設は公私幾十を算して、

其の兒童收容數も可成り多數である。然るにこれらの多くは、専ら現行幼稚園令による幼稚園保育の形式にのみ近づくことに努めて居り、季節的の托兒事業から永久的、通年の保育事業に變化し、保育上の仕事も全く幼稚園令の規程によるものと同じのものが少くない。此れら社會施設としての保育托兒事業は、其れ其れ本年の使命を忘れてはならぬが、此れも我國民教育上重要な保育事業であるから此れが改善統一上私共には斯の問題について今後十分なる研究を要する。

昭和八年十一月大阪市立幼稚園幼兒數調

| 區名 | 在籍幼兒數 | | 計 | 園數 | 組數 |
|------|-------|-------|--------|-----|-----|
| | 男 | 女 | | | |
| 北區 | 七二三 | 六七九 | 一、四〇二 | 八 | 三七 |
| 此花區 | 五五六 | 四八五 | 一、〇四一 | 六 | 二八 |
| 東區 | 九六一 | 九二六 | 一、八八七 | 一〇 | 五四 |
| 西區 | 一、一〇七 | 一、一三〇 | 二、二三七 | 一一 | 六二 |
| 港區 | 一六五 | 一七五 | 三四〇 | 二 | 八 |
| 大正區 | 六五 | 五六 | 一二一 | 一 | 三 |
| 天王寺區 | 二一九 | 二一九 | 四三八 | 三 | 一一 |
| 南區 | 八一七 | 八一〇 | 一、六二七 | 九 | 四三 |
| 浪速區 | 四四三 | 四七五 | 九一八 | 五 | 二六 |
| 西淀川區 | 二八三 | 二五二 | 五三五 | 四 | 一四 |
| 東淀川區 | | | | | |
| 東成區 | 七二 | 四一 | 一一三 | | |
| 旭區 | 七二 | | 一一三 | | |
| 住吉區 | 七二 | 六三 | 一三五 | 一 | 三 |
| 西成區 | 一五九 | 一八七 | 三四六 | 二 | 八 |
| 計 | 五、六四二 | 五、四九八 | 一一、一四〇 | 六三三 | 三〇一 |

(二) 大阪市の幼稚園と保育園體

大阪市の公私幼稚園は最近著しく其の數を増して全市十五區に分布されて居る市立幼稚園は六十五で府のものが一

である。そして昭和八年度の收容園兒童は一萬一千人に達し、此の外私立幼稚園の數も約三十五園を算しその收容園兒童數は三千の見込である。是等公立百に達する幼稚園の中大阪市立のものは勿論大阪市の教育方針によつて體育本位、保健中心を目標として幼兒保育に邁進してゐるものであるが其の他の私立幼稚園の殆んゞ凡ては大阪市立幼稚園の方針に共鳴して市の研究會、講習會、練習會などには多數の保姆が参加してゐる。そして此の外大阪市長を會長とする大阪市保育園に入會若しは加盟してゐる。大阪市保育園は關西保育園聯合會の一團體として名古屋市、京都市、神戸市、岡山市、堺市等と聯合し毎年一回各市巡番に大會を開催して保育に關する協議、研究發表、遊戲の交換をする外に其の機關雜誌として毎年一回以上關西聯合保育園誌を發行することを大阪市保育園が委任されて居る。

(三) 大阪市の幼稚園分布

現在大阪市の幼稚園は概して市の中央部に多く集中してゐるものが多い。

言ひ換へるに何れの大都市にでも見られるやうに新しく

市に編入せられた新市方面には其分布が少ない。これは要するに新市方面に於ては小學校兒童の收容に忙はしくて、幼稚園の設置を考へる餘裕のないこと、中央部の舊市部内では早くから小學校に幼稚園を竝設してゐて永い間に園舎の改善修築に努め設置の完全を圖つたのである。その結果往々小學校舎以外で獨立の園舎を設けてゐるものが少なくない。しかも將來市の幼稚園の増加は、毎年小學校兒童急激の増加によつて小學校増設の急に追はれてゐる間は特別な理由によつて設備の密附がある場合の外は増園の見込は少いと思ふ。此の結果勢ひ新市内には私立の幼稚園の設置を企劃するものが多く表はれて、毎年私立幼稚園の多數が本市の新市方面に開設されつゝある狀況である。

(四) 大阪市の幼稚園に於ける

保育方針

大阪市は小學校教育・中等教育を通じて市の標示する三大教育方針を最も良く尊重してゐる。従つて大阪市の幼稚園に於ても此の三大教育方針を基礎にして幼稚園經營の根本方針としてゐる。茲に云ふ本市の三大方針を稱するものは

第一、體育の重視、第二、教育の實際化、第三、公民教育の尊重の三つである。そして幼稚園に於ては此の三者の中でも最近は特に「體育重視」を最も強調して本市保育の中心點を明かに全市の幼稚園經營上に注意せしめ且努力せしめるために「健康第一」「保健本位の保育」を云つたことを保母全員の胸に強く印象せしめて、幼兒の教養の全部を保健並に健康増進を目標として考慮せしめてゐる。従つて幼兒の遊戲は行き過ぎた興味本位から正しい運動重視への考慮に努めると共に、特に大阪市の環境に鑑みて日光、新鮮なる空氣、必要な安眠、郊外への進出等については保育上には勿論家庭教育に於ても出來得る限り其の機會を多からしめることに努めてゐる。依つて當時郊外電鐵を利用しての校外進出は勿論家庭に於ける兒童榮養改善については最善の努力を傾けてゐる。昭和八年十月十五日から一週間大阪市内に於て計劃實施した兒童健康兒週間の行事は此の意味に於て頗る有益なる結果を獲たと思ふ。

(五) 最近本市保育會の事業

本市保育會は、大阪市保育界振興獎勵の趣旨によつて、

昭和六年から體育本位から見たそして堅實な行進遊戯の講習會を開催して長期に渉る全職員の講習を行つた。此の外或は保育會調査部を設けて幼稚園保育の研究に従事し、又自治的に幼稚園保育の實地研究會を各區に開催してゐる。

最近に本市保育會調査部の手によつて公刊せられた童話集、行進曲及び唱歌集、ヒル氏保育參考書の翻譯、幼稚園叢書の發刊なきを試みた。かくして此の兩三年間には割合に本市保育會が公私幼稚園、托兒所なきのために貢献した事等は少くない。

斯やうに本市は本市教育の大方針を基にして本市保育會を通じ各區の保育會の統制連絡に努めよく本市の第一方針とする保健本位の保育の徹底に注意するに共に、各區に於てよく自治的、協同的に保育の研究の振興を圖つて來た。

特に昭和八年から全市幼稚園の主任保母を集めて各幼稚園の經營方針についてお互の研究を發表し郷土教育、公民教育なきについても有益なる研究の公表があつた。此の外、幼兒の談話、觀察なきについて毎月各自の研究を體驗に關する發表會を開催してゐる。昭和九年に於ける本市保育

會は更に一段の躍進をつけたと思ふが平凡な保健第一の保育方針については更に此れが實行を促し、ますます健康第一主義による保育方針の深刻なる徹底を期したいと思ふ。

(六)本市幼稚園に於ける今後の研究

都市に於ける保育事業は、既に述べたやうに公立幼稚園の外にも社會施設として設けられてゐる。托兒所、保育所なきの數は漸次増加し其の兒童收容數は公立幼稚園の兒童數よりも増加する傾向がある。

此の形勢は要するに現代社會の要求を反映したものであつて、舊來の幼稚園よりも更に簡易であり、經濟的であり、そして自由なものでしかも幼兒の保育托兒を希望することに證明してゐる。

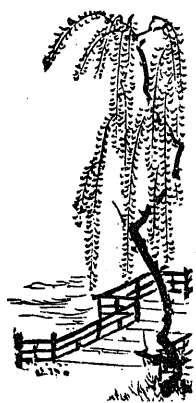
殊に大正十五年文部省訓令によるに、

我が國に於ける幼稚園の事業が社會の狀態に鑑みて一層其の施設を改善するの必要であることを述べて、

「父母共ニ勞働ニ従事シ子女ニ對シテ家庭教育ヲ行フコト困難ナル者ノ多數居住セル地域ニアリテハ今後幼稚園

ノ普及發達センコトヲ期セザルベカラズ、隨ツテ其ノ保育時間ノ如キハ早朝ヨリ夕刻ニ及ブモ亦可ナリト認ム」
ミ示してゐる。

斯やうな點については現代の大都市設立の幼稚園も
まだ十二分の考慮をしてゐるは考へられない。私共は幼
稚園保育問題として將來大に改善すべき問題を一面に於て
研究努力するに共に、亦他面に於て現下の社會狀勢に適應
してよく市民の希望を容れ保育時間の延長問題、家庭教育
との連絡問題、幼稚園經營の地方化實際化問題については
今後大に努力考究しなければならぬと思ふ。(二月十四日)



○本月號は、「宗教と幼児教育」と銘打つて、多數宗教家の方々の御意見を伺ふ計畫をたてたのでございましたが、三月と云ふものはどちらも年度變りやら行事やらで忙中の忙。遂に鈴木、岩村兩氏の玉稿がいたつたのみでした。折角意氣込んだだけに、落膽も一入。併し兩氏の熱のある所説は私共をして、それらの宗教と幼児教育との關係を了解せしめて下さるのに充分だと信じてゐます。

○折角「讀者より」と云ふ欄を設けて、讀者諸氏の御寄稿をお待ちして居りましたのに、早やもうこの欄は恥ぢをかきそうです。どうぞどしどし御投稿下さい。皆さんあんまりひつそりしていらつしやり過ぎますよ。論説でなくばいけないと云ふことはありません。日誌でなくては、と云ふことも無論ありません。實際の材料でも、子供についての觀察等でも、その他何でも實際家の皆様、吾が子を持つるお母様の前に、そういふ事が澤山ぶらついて居るではございませんか。